

# PEP 卓越大学院プログラム生 募集要項 4期生 (2020年9月 TD1 進入) 入試

## 本プログラムの概要

本「パワー・エネルギー・プロフェッショナル(PEP)育成プログラム」は、連携13大学(早稲田大学、北海道大学、東北大学、福井大学、山梨大学、東京都立大学、横浜国立大学、名古屋大学、大阪大学、広島大学、徳島大学、九州大学、琉球大学)による5年一貫の博士人材育成プログラムである。

学生は自らの専攻の履修・修了に加え、本プログラム修了要件(5年間で45単位)を修得することにより「PEP 卓越大学院プログラム修了認定証」が授与される。また、本プログラム科目は、卓越必修科目(7科目10単位)は早稲田大学に設置され、それ以外の卓越専門選択科目は自らの専攻に設置される。卓越必修科目履修にあたっては、オンデマンド形式、集中合宿形式、学外連携先実習等、連携12大学学生に配慮した設計となっている。なお、本プログラム修了は、自らの大学の研究科・専攻の履修・修了が大前提となるため、自らの専攻の履修・修了について、自らの大学の要件等を必ず確認すること。

## 1. 出願資格

### ◆連携13大学共通

出願時において、所属する大学の研究科・専攻の正規学生で、修士課程1年である者。

### ◆横浜国立大学学生

以下の(1)、(2)の両方を満たすこと。

(1) 出願時において下記のいずれかの専攻の博士課程前期1年である者。

- ・理工学府 化学・生命系理工学専攻(エネルギー・マテリアル系分野を対象)
- ・理工学府 数物・電子情報系理工学専攻(電力系分野を対象)

(2) 本学理工学府博士課程後期への進学を強く希望している者。

## 2. 募集人員 若干名

## 3. 出願期間 2020年7月15日(水)～2020年7月17日(金)

## 4. 出願書類(志願票)

出願書類一式は、理工学府WEBサイト(<http://www.fse.ynu.ac.jp/education/others/pep/>)よりダウンロードすること。

なお、志願票には**指導教員の押印が必要**となるため、出願に際しては事前に指導教員に相談し、承認を得ること。

- ・志願票、修士論文研究計画書、進入経緯書、現指導教員からの推薦書<書式自由>  
2019年度秋学期までの成績証明書

※現指導教員からの推薦書、成績証明書以外は、本プログラム指定書式を使用すること。

## 5. 提出方法

以下の(1)、(2)のいずれかの方法で提出すること。

(1) 窓口受付: 理工学府係窓口へ持参。(平日 9:00～12:45、13:45～17:00)

(2) 郵送受付: 2020年7月17日(金)必着で下記宛先へ**簡易書留**による郵送。

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5 横浜国立大学 理工学系教務課理工学府係  
※封筒に「卓越大学院プログラム願書在中」と朱書きすること。

## 6. 選抜方法・選抜スケジュール

選抜は次のスケジュールに従い、出願書類および口述試験を総合的に判定して行う。

- ・書類選考：出願書類により選考を行い、書類選考通過者にメールで口述試験の集合場所・集合日時を通知する。
- ・口述試験：2020年7月23日(木)～2020年7月28日(火)の間で、各専門分野が指定する日時・場所で行う。
- ・試験内容：今までの研究内容、志願動機、本プログラム進入後に取り組みたい研究内容、将来のビジョンについてのプレゼンテーションと質疑応答。プレゼン資料はUSB等で当日持参のこと。
- ・合格発表：2020年8月上旬
- ・進入手続：2020年8月中旬

## 7. プログラム履修期間

2020年9月1日より本プログラム生(TD1)となり、本プログラムに係る科目履修は 2021年4月(TD2) から TD5 修了時までとする。

## 8. 卓越 RA 費

- ・2020年9月1日より、本プログラム生は連携機関や企業等との共同研究等に参画することにより、研究代表者である指導教員等から卓越 RA 費を受給することができる。
- ・本プログラム生は、理工学府博士課程前期 2 年次に理工学府特別研究員／特待生制度に必ず応募する必要がある。
- ・理工学府特別研究員／特待生制度の支給金額や、日本学術振興会特別研究員等の支給金額により、卓越 RA 費の支給金額を減額調整する。

## 9. プログラム履修手続等

2021年4月からのプログラム履修手続に関しては、合格者に別途、2021年3月頃、本プログラム事務局より連絡する。

## 10. その他注意事項等

- ・本プログラムの検定料は不要。
- ・一度提出した出願書類の変更は認めない。また、一度提出した出願書類の返還も行わない。
- ・出願時に収集した個人情報（住所・氏名・生年月日等）については試験実施、合格者発表、履修手続およびこれに付随する業務のためだけに連携 13 大学で使用する。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正使用等がないよう、必要かつ適切な管理をそれぞれ行う。また上記業務の全部又は一部を委託する場合がある。その場合は、委託先に対し契約等により、必要かつ適切な管理を義務付ける。
- ・本プログラムに進入した場合においても、本学理工学府における専攻および研究指導に変更は生じない。
- ・5年一貫制教育プログラムである本プログラムに進入した場合においても、理工学府博士課程前期の修了および博士課程後期への入学を保証するものではない。博士課程前期在籍者が博士課程後期に進学する際は、2022年度理工学府博士課程後期学生募集要項により入学試験を受験し、合格しなければならない。

## 11. 問合せ先

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5  
横浜国立大学 理工学系教務課理工学府係  
TEL : 045-339-3817  
FAX : 045-339-3820  
E-mail : ses.daigakuin-eng@ynu.ac.jp